A close-up photograph of two hands shaking, symbolizing agreement or partnership. The hands are positioned centrally, with fingers interlaced. The background is a soft, out-of-focus light green and white, suggesting an outdoor setting with foliage.

**袖ヶ浦市における  
装具連携について考える**  
～CMを対象にしたアンケート結果より～

袖ヶ浦さつき台病院 阿部 紀之

こんな装具　こんな足の状態  
見たことありませんか？





**装具のメンテナンスや  
アフターフォローが整備されていない**





**ケアマネさんに  
聞いてみよう！**



# 袖ヶ浦市のCMを対象とした 装具に関するアンケート調査



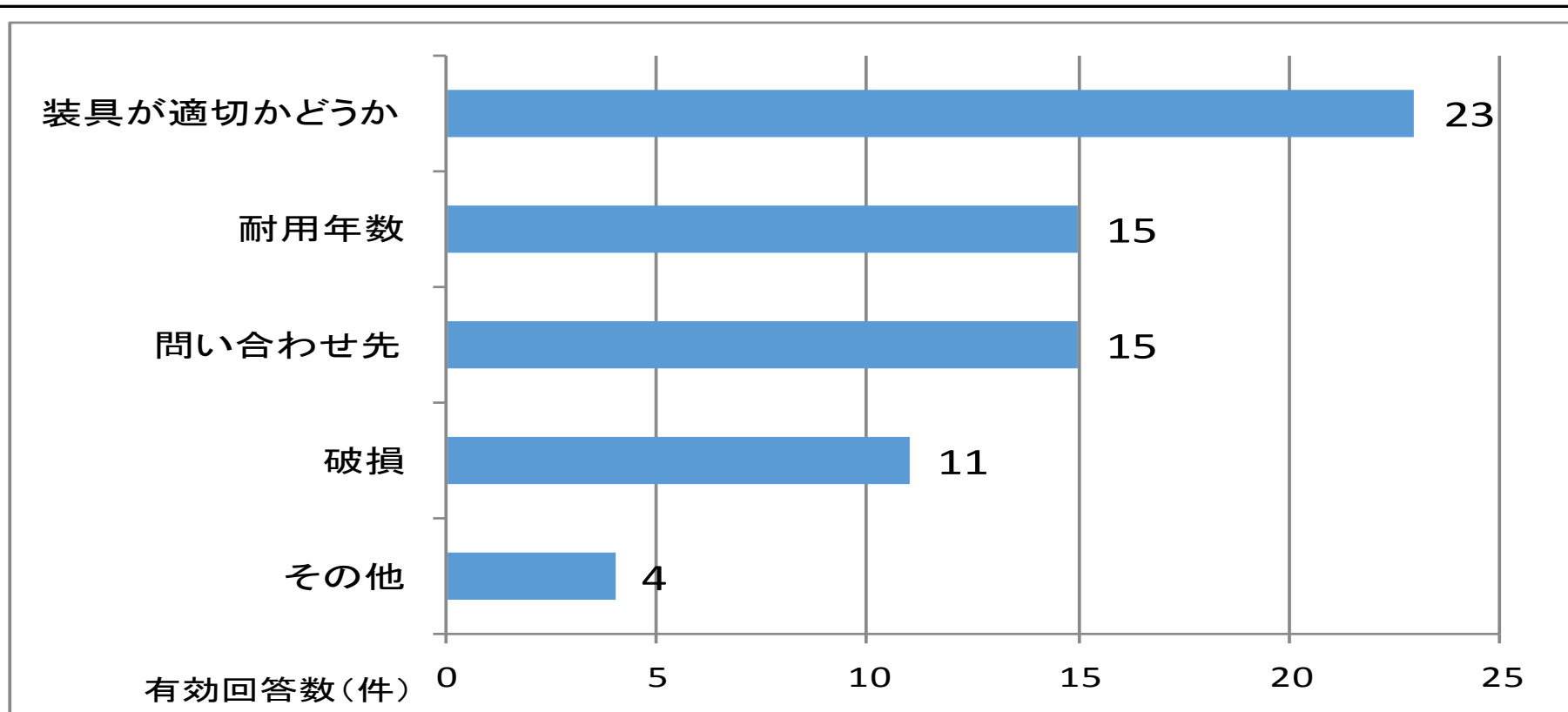
## 対 象

平成28年に袖ヶ浦市ケアマネネットワークの講演に参加した33名のCM

## アンケート内容

- ①介護保険利用者のうち、下肢装具を使用している利用者  
はいるか
- ②下肢装具使用者を担当した際に困りそうなこと
- ③地域での装具療法に関する要望
- ④その他

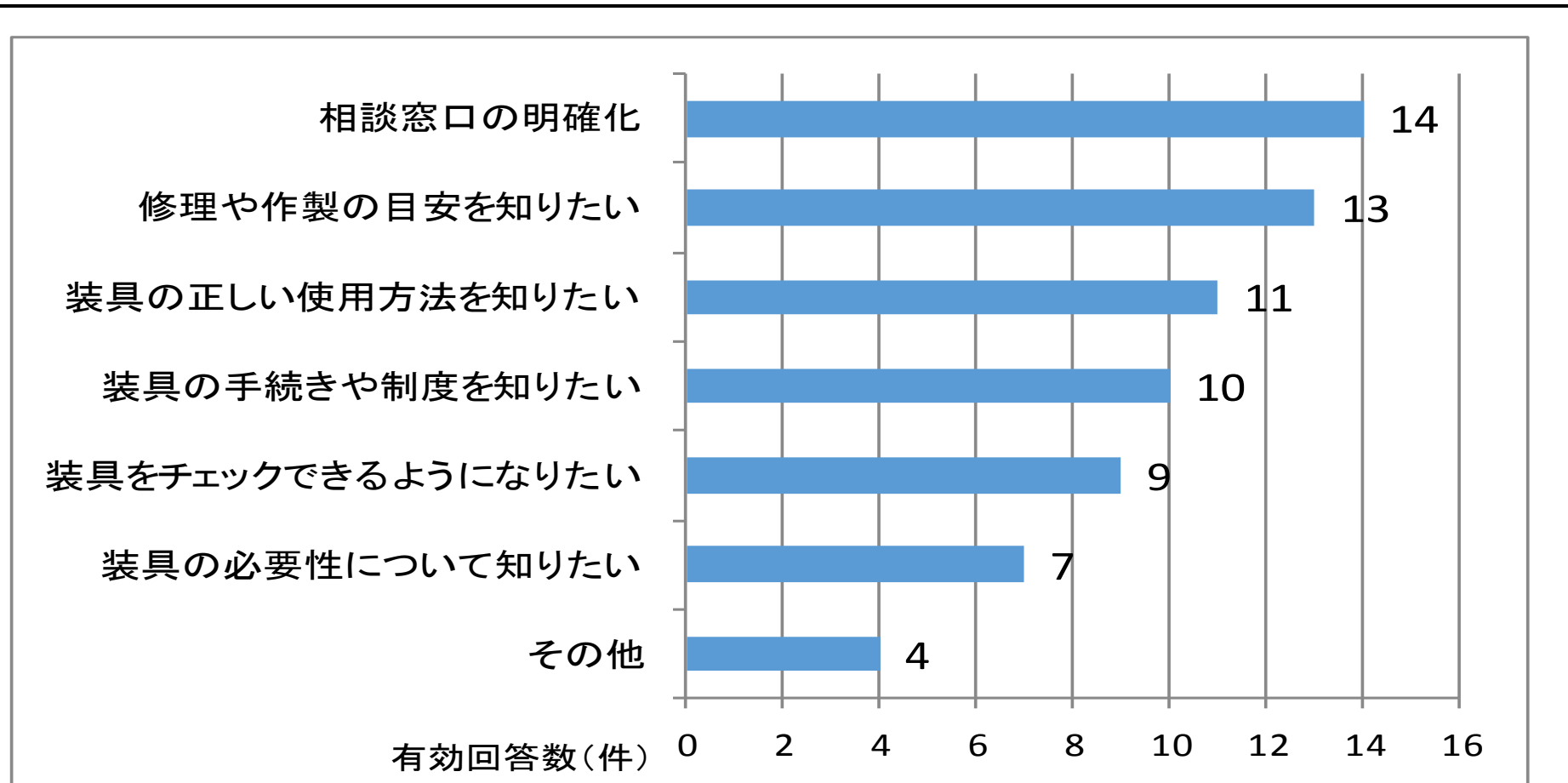
# 下肢装具使用者を担当した際に困りそうなことは何ですか？



## <その他コメント>

- ・デイケアに通われている方なので、リハさんが適切な判断が出来ているかと思えます。しかし、デイケア等に行っていない方に不安はあります。
- ・PTが関わっているので困っていない
- ・使用している本人、家族が使っている目的を忘れたり、理解されていないので実際家の中で使っていない人がいることがあったので困った事があった。
- ・デイを利用していない方、装具作製病院と現在のかかりつけ医が違う場合

# 地域での装具療法に関する要望はありますか？



- ・ その人の今のレベルに合っているのかと思ったときがあるので、相談窓口がわかれば、もっと対応がスムーズになるのかと思いました。どこに相談したらいいのかケアマネとして困っていることがあります。
- ・ 作製や修理などの大まかな費用などを知りたい

# 装具に関する自由記載

- ・代金がどの位かかるか. 作った業者ではない所に相談できるか？
- ・紹介状がなくても受診可能か
- ・担当医とリハの担当者が言っていることが違ったり, 装具の耐用年数が分からないと言われたことがあった.
- ・申請や手続きに時間と費用がかかる.
- ・定期的なメンテナンスができていないことが実情
- ・何年も古い装具を自己修正で使用しており, 誰もそれを指摘しない. 指摘できない.
- ・使い慣れたものを修理のために手放す事への不安から修理・チェックを望まない.
- ・装具を使う利用者によって耐用年数がまちまち.
- ・以前壊れて装具を作り直してもらったときがあったが, 耐用年数が決まっていれば作り直す必要があるとは思っていなかった. 利用者も家族もそう思っているように思える.
- ・あきらかな不具合だと分かりやすいが, 本人が認識しづらかったり, 面倒だったり, 忘れてしまったりしてそのまま使い続ける方も結構いるのではと心配になった.
- ・装具は身体の一部にもなるのでとても重要なものだと思います. セラピストの方々が動き出してくれている事, 考えてくれている事, とても心強く思います.
- ・私達ケアマネージャーももっともっと知識をつけていかなければならない.
- ・長下肢装具を使用していて, PTがいるデイケア・デイサービスに通っている方は専門職の目が入ると思うが, ショートなどのみ利用している方は判断が難しい.



# 当院での装具外来



毎週金曜日 11:00～

**装具の新規作製**  
**装具の修理依頼**  
**装具の必要性の検討**

ご家族やCM、生活期のリハ職が同席してくださることもあります。

遠方からの依頼もありますが、その際は郵送にて対応させて頂いています。

修理のため一時的に装具をお預りする場合は、必要に応じて当院の備品を貸し出しています。



# 全国で医療-介護における装具連携が 少しずつ広がっています

## 大阪府三島二次医療圏域の例（愛仁会リハビリテーション病院）

退院時指導用  
パンフレット

装具ノート

セラマップ

### 安心・安全に装具を お使いいただくために

#### 装具の修理

補装具は長年使用しますと、装具自体に劣化や不適合が生じます。不適合な補装具を使用し続けると、痛みが生じたり、歩行が不安定になったりします。装具に関して不具合が発生しましたら、装具外来を開設していますので、お問い合わせ下さい。

#### ● 装具の修理

ベルトや底材は消耗品です。定期的な修理が必要で、また、セトが入り替わることもありますので、使用前にチェックしてください。



#### ● ベルト類の異常



#### ● キャンプの発損やほすれていないか。



#### ● 適合の確認

装具は身体に適合している事がとても大切です。身体の増減や足の動きの変化などにより、装具と身体が合わなくなってきます。無慮に使用を続けると足が痛ついたり、歩きにくくなり転倒の危険性が高まります。



装具外来についてのお問い合わせは、

地域医療室 TEL: 072-683-1212 (代) が承ります。

愛仁会リハビリテーション病院  
社会医療法人 愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院

〒669-1176 大阪府三島市 072-683-1212



### 装具ノートについて

#### 【目的】

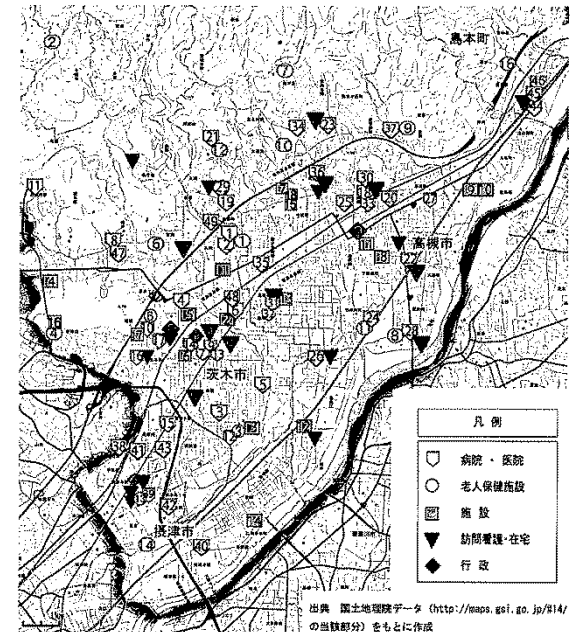
- 『装具ノート』は、下肢装具を製作された方が、適宜の器具製作年月日のみならず、適宜の器具製作内容や身体状況を把握することを目的とし、患者さまご自身やご家族に持っていただくものです。
- 患者さまの装具に関する経過を、療養環境が変わっても、切れ目のない器具に関する情報が伝達されることを期するためのノートです。
- 器具に関して困ったときは、関係する方へ『装具ノート』を渡していただき、器具の修理や再製作が円滑に行えることを期するためのノートです。

※このノートは器具に関する大事な情報が記録されています。

大切に保管、管理してください。



三島圏域セラピスト連携窓口一覧  
(セラマップ第6版)



凡例	
◻	病院・医院
○	老人保健施設
◻	施設
▼	訪問看護・在宅
◆	行政

出典 国土院地図データ (http://maps.gsi.go.jp/#!/4/ の当該部分) をもとに作成

平成27年5月現在  
三島圏域地域リハビリテーションセラピスト幹事会 発行